



# KAWAI 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社河合楽器製作所  
 コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 照幸 TEL 053-457-1227  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	36,430	3.0	1,965	14.3	1,913	1.6	1,433	56.7
2019年3月期第2四半期	35,359	4.6	1,719	61.0	1,882	53.6	914	18.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,030百万円 (0.8%) 2019年3月期第2四半期 1,022百万円 (△14.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	167.35	-
2019年3月期第2四半期	107.10	-

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年3月期第2四半期	52,550		25,604		48.5	
2019年3月期	53,231		25,005		46.8	

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 25,511百万円 2019年3月期 24,915百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	55.00	55.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	0.9	3,100	△15.5	3,100	△20.9	1,900	△5.5	221.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	9,011,560株	2019年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	439,874株	2019年3月期	456,554株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	8,563,843株	2019年3月期2Q	8,539,484株

※当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship）」を導入しております。野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を期末自己株式数に含めて記載しております。

（2020年3月期2Q 23,400株）

また、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2020年3月期2Q 31,250株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済対策により企業収益は高水準を維持しているものの、不安定な国際情勢の中において輸出や生産の一部に弱さが見られ、雇用所得環境は緩やかな持ち直しにとどまっております。世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や欧州における不安定な政治情勢の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは第6次中期経営計画「Resonate 2021」を策定し、100年ブランドの確立に向け、祖業であるピアノづくりでトップブランドを目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に取り組んでおります。

国内では、教室・販売・アフターサービスを一体化した地域ユニット体制による営業活動の強化に継続して取り組み、カワイブランドの発信拠点となる店舗を最大限に活用し、『Shigeru Kawai』をはじめとした高付加価値商品の販売に取り組ましました。

海外では、米国やドイツでの直営店の活動などによる鍵盤楽器の販売拡大を図るとともに、中国や東南アジアでは、当社の強みである販売・音楽教室・調律・生産の四位一体のノウハウを活かして、中長期的な成長に向けた展開を推進しました。

また創立90周年の節目に合わせ創設した『Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』は、本年8月に第3回を開催し、18の国と地域から234名のピアニストがエントリーしてハイレベルな演奏が繰り広げられ、大きな反響を頂きました。引き続き次世代を担うピアニストの発掘・育成や、世界の音楽文化の振興にも力を入れてまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 36,430百万円（前年同期比 1,070百万円増）、営業利益は 1,965百万円（前年同期比 245百万円増益）となり、経常利益は 1,913百万円（前年同期比 30百万円増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,433百万円（前年同期比 518百万円増益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (楽器教育事業)

楽器教育事業は、『Shigeru Kawai』やハイブリッドピアノ『AURES』などの高付加価値商品の販売が好調で、主力のピアノは日本での伸長をはじめ、欧州や中国で堅調に推移しました。デジタルピアノは最上位モデルの『CA』シリーズや『CN』シリーズを中心に日本や欧州で堅調に推移しました。この結果、売上高は 29,079百万円（前年同期比 300百万円増）となり、営業利益は 1,367百万円（前年同期比 104百万円増益）となりました。

## (素材加工事業)

素材加工事業は、自動車関連部品の受注や防音室の販売が増加したことなどにより、売上高は 5,173百万円（前年同期比 32百万円増）となり、営業利益は 621百万円（前年同期比 142百万円増益）となりました。

## (その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器の販売やソフトウェア開発の受託の増加などにより、売上高は 2,176百万円（前年同期比 737百万円増）となり、営業利益は 28百万円（前年同期比 41百万円増益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の減少などにより 52,550百万円（前期末比 681百万円減）となりました。

負債合計は、未払金や短期借入金、長期借入金の減少などにより 26,946百万円（前期末比 1,280百万円減）となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益などにより 25,604百万円（前期末比 598百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,798	10,426
受取手形及び売掛金	7,434	7,537
商品及び製品	5,496	5,718
仕掛品	1,552	1,368
原材料及び貯蔵品	2,208	2,712
その他	1,524	1,732
貸倒引当金	△153	△131
流動資産合計	29,861	29,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,870	4,727
機械装置及び運搬具(純額)	2,056	2,047
土地	6,345	6,337
その他(純額)	869	985
有形固定資産合計	14,142	14,098
無形固定資産	862	857
投資その他の資産		
投資有価証券	5,857	5,652
繰延税金資産	1,089	1,167
その他	1,541	1,556
貸倒引当金	△122	△146
投資その他の資産合計	8,365	8,229
固定資産合計	23,370	23,185
資産合計	53,231	52,550
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,265	4,141
短期借入金	5,859	5,574
未払法人税等	732	627
賞与引当金	897	980
製品保証引当金	94	55
その他	4,753	4,222
流動負債合計	16,602	15,601
固定負債		
長期借入金	1,091	850
環境対策引当金	29	29
退職給付に係る負債	9,479	9,318
資産除去債務	601	602
その他	421	544
固定負債合計	11,624	11,344
負債合計	28,226	26,946

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	17,189	18,150
自己株式	△1,061	△1,020
株主資本合計	24,508	25,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	873	727
為替換算調整勘定	△101	△406
退職給付に係る調整累計額	△364	△318
その他の包括利益累計額合計	407	2
非支配株主持分	89	92
純資産合計	25,005	25,604
負債純資産合計	53,231	52,550

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	35,359	36,430
売上原価	25,889	26,716
売上総利益	9,470	9,713
販売費及び一般管理費	7,751	7,747
営業利益	1,719	1,965
営業外収益		
受取利息	35	34
受取配当金	26	27
固定資産賃貸料	21	18
為替差益	123	—
その他	81	22
営業外収益合計	287	103
営業外費用		
支払利息	26	22
寄付金	31	40
為替差損	—	70
その他	65	22
営業外費用合計	124	155
経常利益	1,882	1,913
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取補償金	7	10
特別利益合計	7	10
特別損失		
固定資産除却損	14	7
固定資産売却損	0	—
投資有価証券売却損	475	—
特別損失合計	491	7
税金等調整前四半期純利益	1,398	1,917
法人税等	485	478
四半期純利益	913	1,438
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	914	1,433

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	913	1,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	383	△145
為替換算調整勘定	△337	△308
退職給付に係る調整額	56	45
持分法適用会社に対する持分相当額	6	0
その他の包括利益合計	108	△408
四半期包括利益	1,022	1,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,028	1,027
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	2



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,779	5,141	33,920	1,439	35,359	—	35,359
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	210	211	182	393	△393	—
計	28,780	5,351	34,131	1,621	35,753	△393	35,359
セグメント利益 又は損失(△)	1,262	479	1,741	△12	1,729	△9	1,719

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△57百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,079	5,173	34,253	2,176	36,430	—	36,430
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	266	266	194	461	△461	—
計	29,080	5,440	34,520	2,370	36,891	△461	36,430
セグメント利益	1,367	621	1,988	28	2,017	△51	1,965

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△51百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。